

令和8年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	数学Ⅱ				
教科	数学科	単位数	4単位	学年・コース	高校2年 特別選抜(理系)
使用教科書	高等学校 数学Ⅱ(数研出版)				
副教材等	新課程教科書傍用 4プロセス 数学Ⅱ+B (数研出版)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	Ⅱ 第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式・不等式の証明	確認テスト(6回) 確認テスト(1回) 第1学期中間考査	10月	第2節 加法定理	確認テスト(5回) 第2学期中間考査
5月	Ⅱ 第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 第2節 高次方程式	確認テスト(5回) 確認テスト(2回)	11月	Ⅱ 第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数	確認テスト(7回) 確認テスト(6回)
6月	Ⅱ 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線	確認テスト(4回) 第1学期期末考査 確認テスト(5回)	12月	Ⅱ 第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化	第2学期期末考査 確認テスト(3回) 確認テスト(2回)
7月	第2節 円		1月	第3節 積分法 数学Ⅲの先取り学習を行う	確認テスト(5回)
8月			2月		
9月	第3節 軌跡と領域 Ⅱ 第4章 三角関数 第1節 三角関数	確認テスト(1回) 確認テスト(6回)	3月		学年末考査

3. 学習評価について(観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

① 知識・技能	[定期考査、小テスト]
② 思考・判断・表現	[定期考査、小テスト]
③ 主体的に学習に取り組む態度	[課題提出、小テスト]

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

令和8年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	数学Ⅱ				
教科	数学科	単位数	4単位	学年・コース	高校2年 特別選抜(文系)・進学(理系)
使用教科書	新編 数学Ⅱ (数研出版)				
副教材等	特別選抜(文系)	3TRIAL	数学Ⅱ (数研出版)		
	進学(理系)	3TRIAL	数学Ⅱ+B (数研出版)		

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成する。
--

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第1章 式と証明 第1節 式と計算 1 3次式の展開と因数分解 2 二項定理 3 多項式の割り算 4 分数式とその計算 5 恒等式 第2節 等式・不等式の証明 6 等式の証明 7 不等式の証明	小テスト 提出物 第1学期中間考査	10月	9 不等式の表す領域 第4章 三角関数 第1節 三角関数 1 角の拡張 2 三角関数	小テスト 提出物 第2学期中間考査
6月	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 1 直線上の点 2 平面上の点 3 直線の方程式 4 2直線の関係	12月	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 1 微分係数 2 導関数とその計算 3 接線の方程式 第2節 関数の値の変化 4 関数の増減と極大・極小 5 関数の増減・グラフの応用 第3節 積分法 6 不定積分 7 定積分 8 定積分と面積	小テスト 提出物 学年末考査	
					7月
8月					
					9月

3. 学習評価について (観点・評価場面設定・年度末評定)

<p>評価は、次の観点から行います</p> <p style="text-align: center;">① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 15%;">① 知識・技能</td> <td style="width: 65%;">[定期考査</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">]</td> </tr> <tr> <td>② 思考・判断・表現</td> <td>[定期考査</td> <td style="text-align: right;">]</td> </tr> <tr> <td>③ 主体的に学習に取り組む態度</td> <td>[小テスト、提出課題</td> <td style="text-align: right;">]</td> </tr> </table> <p>年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します</p>	① 知識・技能	[定期考査]	② 思考・判断・表現	[定期考査]	③ 主体的に学習に取り組む態度	[小テスト、提出課題]
① 知識・技能	[定期考査]							
② 思考・判断・表現	[定期考査]							
③ 主体的に学習に取り組む態度	[小テスト、提出課題]							

令和8年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	数学B				
教科	数学科	単位数	2単位	学年・コース	高校2年 特別選抜(理系)
使用教科書	数研出版 高等学校 数学B				
副教材等	数研出版 教科書傍用 4プロセス 数学Ⅱ+B				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ① 基礎的な知識の習得と技能の習熟
- ② 事象を数学的に考察する能力
- ③ 数学の良さを認識でき、それらを活用する。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第2章 確率変数と確率分布 6 母集団と標本 7 標本平均の分布 8 推定 9 仮説検定	確認テスト7回	10月	数学C 第1章 平面上のベクトル 1 ベクトル 2 ベクトルの演算 3 ベクトルの成分 4 ベクトルの内積 5 位置ベクトル 6 ベクトルの図形への応用 7 図形のベクトルによる	確認テスト10回
	5月			第1章 数列 1 数列と一般項 2 等差数列 3 等差数列の和 4 等比数列 5 等比数列の和 6 和の記号 Σ 7 階差数列 8 いろいろな数列の和 9 漸化式 10 数学的帰納法	第1学期中間考査
6月		第1学期期末考査	12月	第2学期期末考査	
	7月				第1学期期末考査
8月		第1学期期末考査	2月	第2学期期末考査	
	9月				第1学期期末考査

3. 学習評価について (観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

上記の3観点のA, B, Cの組み合わせから5段階評定を算出します

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- | | | |
|-----------------|-------------|---|
| ① 知識・技能 | [定期考査、小テスト |] |
| ② 思考・判断・表現 | [定期考査、小テスト |] |
| ③ 主体的に学習に取り組む態度 | [課題提出、小テスト |] |

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定

令和8年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	数学B				
教科	数学科	単位数	2単位	学年・コース	高校2年 進学(理系)
使用教科書	新編 数学B (数研出版)				
副教材等	3 Trial 数学Ⅱ+B (数研出版)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	B 第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列	小テスト	10月		小テスト 提出物
5月	B 第1章 数列 第2節 いろいろな数列	小テスト 提出物	11月	B 第2章 統計的な推測 第2節 統計的な推測推測	小テスト 提出物
6月		小テスト 提出物	12月		第2学期期末考査
7月	B 第1章 数列 第3節 漸化式と数学的帰納法	第1学期期末考査	1月		提出物
8月			2月		小テスト 提出物
9月	B 第2章 統計的な推測 第1節 確率分布	小テスト	3月		学年末考査

3. 学習評価について (観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

① 知識・技能	[定期考査]
② 思考・判断・表現	[定期考査]
③ 主体的に学習に取り組む態度	[課題提出、小テスト]

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

令和8年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	数学研究(選択)				
教科	数学科	単位数	2単位	学年・コース	高校2年 進学(文系)
使用教科書	なし				
副教材等	リンク数学演習 I + A				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

<p>共通テスト対策問題を解くことで数学 I Aの内容を復習するとともに理解を深める。</p>

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法		
4月	数学 I 第1章 式と計算 第2章 集合と命題	小テスト・課題提出 小テスト・課題提出	10月	第5章 データの分析	小テスト・課題提出		
5月	第3章 2次関数	小テスト・課題提出	11月				
6月			12月			第2学期期末考査	
7月		第1学期期末考査	1月			数学A 第1章 場合の数と確率	小テスト・課題提出
8月			2月			第2章 図形の性質	小テスト・課題提出
9月	第4章 図形と計量	小テスト・課題提出	3月				学年末考査

3. 学習評価について (観点・評価場面設定・年度末評定)

<p>評価は、次の観点から行います</p> <p>① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします</p> <p>① 知識・技能 [定期考査]</p> <p>② 思考・判断・表現 [定期考査]</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 [小テスト、提出物]</p> <p>年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します</p>
